

トヨタハイエース専用 ヘッドライト専用キット 《200系 標準・ワイドボディー共用》

取付・取扱説明書

アサヒライズ株式会社 エフイーティー事業部
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

⚠ ご注意

- この度は、トヨタハイエース専用ヘッドライト専用ヘッドライト専用キットをお買い上げいただきましてありがとうございます。
この製品は、お車のヘッドライトをハロゲンバルブから、HIDバルブに交換する為の製品です。
正しく安全にご使用頂く為に、この取付け、取扱説明書をよくお読みになり、内容をご確認、ご了承の上でご使用ください。
- 本製品はエンジン始動時にオートライトモード(コンライト)になっていると、HIDが点灯しない場合があります。
これは始動時の車輻側電力供給の低下などの要因が関係します。不点灯になった場合、一旦、スイッチをOFFにして再度ONにするとHIDは点灯します。
※エンジンを止める際にオートライトモードを解除しておく事をお勧めします。
- 本製品を車両に装着するには、ライトの脱着が必要です。
- 本製品は、《200系 ハイエース・レジアスエース》専用です。当該車両以外では使用しないでください。
- 本製品の使用、取付けの際には、本取付・取扱説明書、及び車両メーカー作成の整備マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。
- HIDシステムは陸運支局に確認の上、車検対応として製造されておりますが、通常のハロゲンバルブとは異なる発光色に見える為、稀に検査官によっては不適合と判断される場合があります。また、一部の車両ヘッドライトとの組み合わせでは、霧灯の色度または異なる発光色に見える為、車検に適合しない場合があります。これらの場合、申し訳ございませんが、ハロゲンバルブに戻し、受検してください。
- 本製品は、通常のHIDシステムやハロゲンバルブより明るさが増加する為、光軸が合っていないかったり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがありますので、必ず光軸を正しく合わせてご使用ください。
- 本製品の取付、交換は専門の技術が必要です。安全の為、必ず、整備工場が自動車電装品取扱いの専門店で作業を依頼してください。

製品仕様

【H.I.D バルブ】

- タイプ : H4
- 消費電力 : 35w

【インバータ】

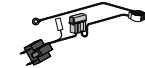
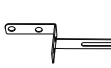
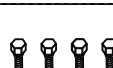
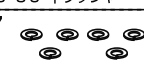
- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力電圧、電流 : 85v、35w

【イグナイタ】

- 無負荷二次電圧 : 20～30kv

構成部品

※ご使用前に部品が全て揃っているか、ご確認ください。

1  H I Dバルブ	2  イグナイタ	2  インバータ	2  H. I. Dコントロールユニット	1  コントロールハーネス A-1
6  コントロールハーネス A-2	7  コントロールハーネス B	8  インバータ電源線	9  コルゲートチューブ	10  インシュロック
11  スペア ヒューズ (15A)	12  フード・スペーサー	13  ネジ(M3×6)	14  インバータステー L	15  インバータステー R
16  イグナイタステーA	17  イグナイタステーB	18  ユニットステー	19  六角ボルト(M6×15)	20  六角ボルト(M6×10)
21  M6平ワッシャー	22  M6-30 平ワッシャー	23  M6ナット	24  六角タッピングネジ(M5×16)	25  六角ボルト(M5×8)
26  スクリュウグロメット	27  M5スプリングワッシャー	28  M5平ワッシャー	29  M5ナット	30  スポンジシート

⚠ 安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

⚠ 警告

- ⊘ ガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。

破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。

- ⊘ 紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。

火災の原因となります。

⚠ 注意

- ⚠ このHIDシステムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。

イグニタ、インバータは、始動時に高電圧を発生する為、ノイズが発生する場合があります。イグニタ、インバータの取付位置や車両によっては、車両(コンピュータ、オーディオ等)に影響する場合があります。

- ⚠ ライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり洗車などは、おこなわないでください。

点灯中や消灯直後はライトのレンズやボディが熱いのでヤケドの原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後の洗車は温度差によるレンズ割れの原因となることがあります。

※洗車やライト付近の作業をおこなう場合は、充分にさました後、作業をおこなってください。

- ⚠ 点灯中の光(電球)を間近で長時間見つめないでください。

目が痛くなったり、視力障害の原因となります。

- ⚠ 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。

HIDバルブをイグニタへ接続しない状態で、ライトスイッチをオンにするとイグニタ側のHIDバルブ接続端子に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。

また、この状態でライトスイッチをオフにしても高電圧が残留(遮断後約300msec以内)し、感電する恐れがあります。

- ⚠ ライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。

このシステムは、通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていないかたり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

⚠ 取付作業に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- ⊘ 停車中(信号待ちなど)の点灯/消灯は頻繁におこなわないでください。

点灯/消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が消耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起こす原因となります。

注)ライトスイッチの点灯/消灯を短い間隔でくり返すと点灯しなくなる場合があります。

これは、インバータの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。この症状が出た場合、数秒の間隔(10秒以上)を置いてから再点灯をおこなってください。

- ⊘ 下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。

この症状はインバータの昇圧差や固体差によって発生する症状で、クレームの対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。

1) 点灯直後や再点灯時に(約10~20秒間)赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。

2) 左右のライトが同時に点灯しないことがあります。

3) 点灯時、左右の照射色が異なる場合があります。これは商品の固体差により発生するものでクレーム対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。

- ⊘ 一部の車両において、球切れモニターが点灯する場合があります。

この症状は、車両側ライトの電気制御系統とHIDシステムの相性により発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ⊘ 改造、分解は絶対におこなわないでください。

この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムの作動中は高電圧を発生しますので、インバータ・イグニタ・HIDバルブなどの改造や分解は絶対におこなわないでください。

また、改造や分解、不当な修理に起因し生じた故障および損傷については、製品保証の対象外となりますので、ご了承ください。

使用中におかしいな?と思ったら!!

1) 速やかに車両を安全な場所へ移動し、停止させてください。

2) ライトスイッチを消灯状態にして、数秒後再点灯をおこなってください。

3) 上記作業を何度かおこなっても症状が改善されない場合は、再度10分から20分程度電源を切り(ハザードは除く)、その後再点灯をおこなってください。

※上記作業をおこなっても正常にもどれば、インバータの安全回路が作動に起因し発生した症状なので、そのままご使用頂いて問題はありません。

もし症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄の駐車設備のある場所へ車両を移動し、速やかに購入・取付けをおこなった販売店へご相談ください。

⚠ 使用に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ラジオのプリセットチューニング

など電装品のメモリーを控えて

おく。《車種によりバッテ

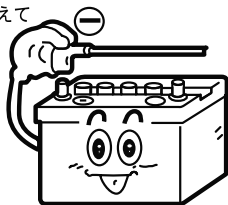
リーケーブルを外すと車

両側の制御機能が誤作動

する場合があります。詳しく

は車両の取扱マニュアルを

ご参照ください。》



- ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

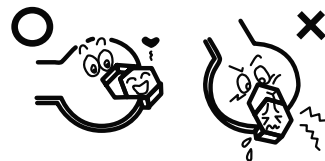
※取付後の修復チェックを

確実に進行。



- ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用して確実に進行。

※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。



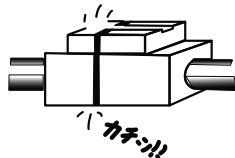
- 車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

※ハーネス断線を防止する。



- コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。

※接続不良を防止する。



- ハーネス(配線)配索の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらぶらさせない。

※イグニタ、バルブ間の配線を絶対に結束しないでください。



- 部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスを引っかけたりかみ込んだりしないこと。

※ハーネス断線を防止する。



- 車両のワイヤリングハーネスを強く引っ張らないこと。

※コネクター外れや断線を防ぐ。



- ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行うこと。

※誤配線の防止。



⚠ 取扱(取付)に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

装着作業をおこなう際は下記項目を必ずお守りください。

※下記の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関しては、クレームとしてお受けできません。

◎取付作業を開始する前に、必ずシステムの作動確認をおこなってください。

※バルブパッケージは未開封の状態ではイグナイタ、インバータを仮接続し、バッテリー電源などを使用し点灯確認をおこなってください。

※バルブパッケージ開封後は、クレームとしてお受けできません。(但し、製品上のトラブルは除く)

※点灯テスト手順は、別項の点検要領をご参照ください。

◎HIDバルブの装着作業をおこなう際は、必ず車両からライトを外しておこなってください。

※HIDバルブはとてもデリケートです。装着作業をおこなう際は必ず車両からライトを外した状態でおこなってください。

◎車両のライトヒューズ容量を必ず確認してください。

※システム起動時に電気容量が必要となりますので、車両側ライトヒューズの容量を必ず確認してください。

ライトヒューズの容量が15A以下の場合は、15Aヒューズ(最大20A)と交換をおこなってください。

◎イグナイタ、インバータの取扱は慎重におこなってください。

※イグナイタ、インバータは精密な電子回路の集合体です。落としたり、配線を引っ張ったりしないでください。

また、システム作動中は高電圧が発生しておりますので装着や点検作業をおこなう場合、必ずライトスイッチがオフになっていることやバッテリーの端子が取外されていることを確認の上、作業をおこなってください。

インバータ、イグナイタの取付けに際しては、水や熱がかかりにくいエンジンルーム内へ確実に固定してください。

◎減光システム装置付き車両への装着または併用はできません。

※一般的な減光システムは、出力電圧を自動で調整(上げ下げ)することでライトの光量調整(減光)をおこなう装置です。

HIDシステムと併用した場合、減光システムが作動した際、HIDの作動に必要な最低起動電圧(9ボルト)を下回り、電圧不足が発生し点灯やシステムの破損の原因となります。

ハズシテネ!



HIDバルブ点灯テスト要領

☆HIDバルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。☆

当商品は出荷前に振動/点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業前に、下記点灯テスト要領をご参照の上、必ず点灯確認作業をおこなってください。

《点灯テスト手順》

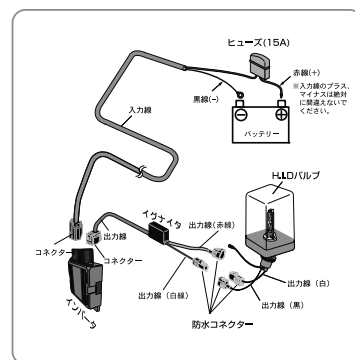
①HIDバルブを開封する前に左図をご参照の上、HIDバルブ、イグナイタ、インバータ、電源線をそれぞれ接続

してください。

②接続終了後、入力線の黒線をバッテリーのマイナス側端子へ仮付けしてから、入力線の赤線をバッテリーのプラス

側端子へ接続してください。

③HIDバルブが点灯すればテストは終了となります。



⚠ ご注意

△点灯テストは、10秒以内で終了させてください。

指定時間以上点灯をおこなった場合、ヤケドやバルブケースの溶解などケガの原因となります。

△点灯テストで、点灯が確認できない場合は、直ちに取付け作業を中止してください。

△システムの破損につながりますので、電源接続の際は、プラス(+),マイナス(-)を絶対に間違えないでください。

△破損や作動不良の原因となりますので、インバータケースにバッテリーなどのプラス電源が触れないよう、ご注意ください。

※装着前の点灯テストを怠りバルブケースを開封した場合や装着作業中に発生した破損などはクレームの対象外となりますので十分ご注意ください。

⚠ 取付(システム)概要・接続構成図

取付概要・接続構成図

⚠ ご注意

車両側のランプヒューズが15A以上であるか、必ず確認を

おこなってください。

※車両側のランプヒューズが15A以下の場合、ランプヒューズ

を15A(最大20A)へ変更をおこなってください。

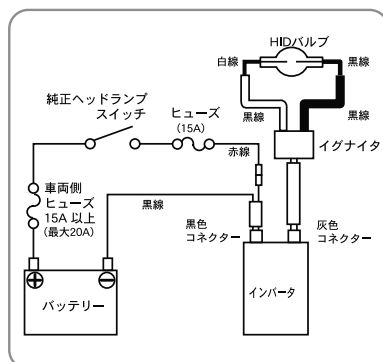
システム概要

◎取付け作業を開始する前に、システム全体の取付け概要を

理解してください。

◎取付けの際には、取扱説明書及び車両メーカー制作の

配線図に従って十分に注意して作業をおこなってください。



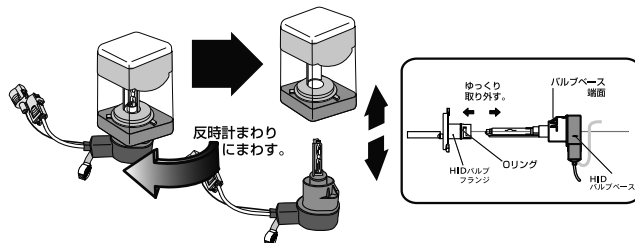
【バルブケースからの取外し方法】

①バルブケースを片手で持ち、もう一方の手でバルブベースを反時計方向にまわしてください。

②バルブベースをバルブケースからゆっくり引き出し、バルブフランジとバルブベースを分離し

てください。

※②の作業を行う際は、バルブベースがリングを通過するまで多少かたい場合があります、勢い良く引き抜くとバルブを破損する可能性がありますので、充分ご注意ください。



トラブルシューティング

◎全く点灯しない

ヘッドランプスイッチはONになっていますか?

NO

ヘッドランプスイッチをONにしてください。

各コネクターは確実に接続されていますか?

NO

コネクターを確実に接続してください。

アースは確実に接続されていますか?

NO

アース端子を確実に接続してください。

ヒューズは切れていませんか?

NO

新品の15A ヒューズと交換してください。

HIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

◎片側が点灯しない

各コネクターは確実に接続されていますか?

NO

コネクターを確実に接続してください。

アースは確実に接続されていますか?

NO

アース端子を確実に接続してください。

点灯するライト側のインバータ・イグナイタを

NO

バルブにトラブルが発生しています。

点灯しない側へ付け替えてください。

NO

(販売店にて点検を受けてください。)

片側のHIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

【HIDコントロールシステム】

◎切り替わらない

ヘッドランプスイッチはONになっていますか?

NO

ヘッドランプスイッチをONにしてください。

各コネクターは確実に接続されていますか?

NO

コネクターを確実に接続してください。

アースは確実に接続されていますか?

NO

アース端子を確実に接続してください。

コントロールシステムのヒューズは

NO

トラブルの原因を解消してから

切れていませんか?

NO

新品の10A ヒューズと交換してください。

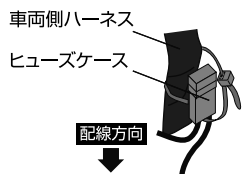
HIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

⚠ 取付(システム)概要・接続構成図

ご注意

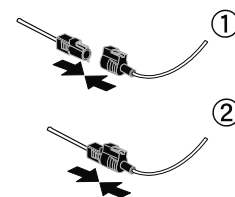
- ※アース取得端子部の接触不良の原因による点灯不良にご注意ください。
しっかりとアースを落せる部位に取付け、経年劣化による錆対策を行ってください。
- ※バッテリーマイナス側に電流センサーが装着されている車両へ取付ける場合、バッテリーマイナス端子に接続しないでください。車両側充電制御が最適に行えない事があります。
この様な車両の場合、ボディアースへ接続してください。

ヒューズケースの取付けについて
ヒューズケースの取付けの際、グリスの塗布を行ってください。
取付は、必ず、配線が下向きにして付属のインシュロックで固定してください。
取付の際、配線を無理に引っ張ったりしないでください。

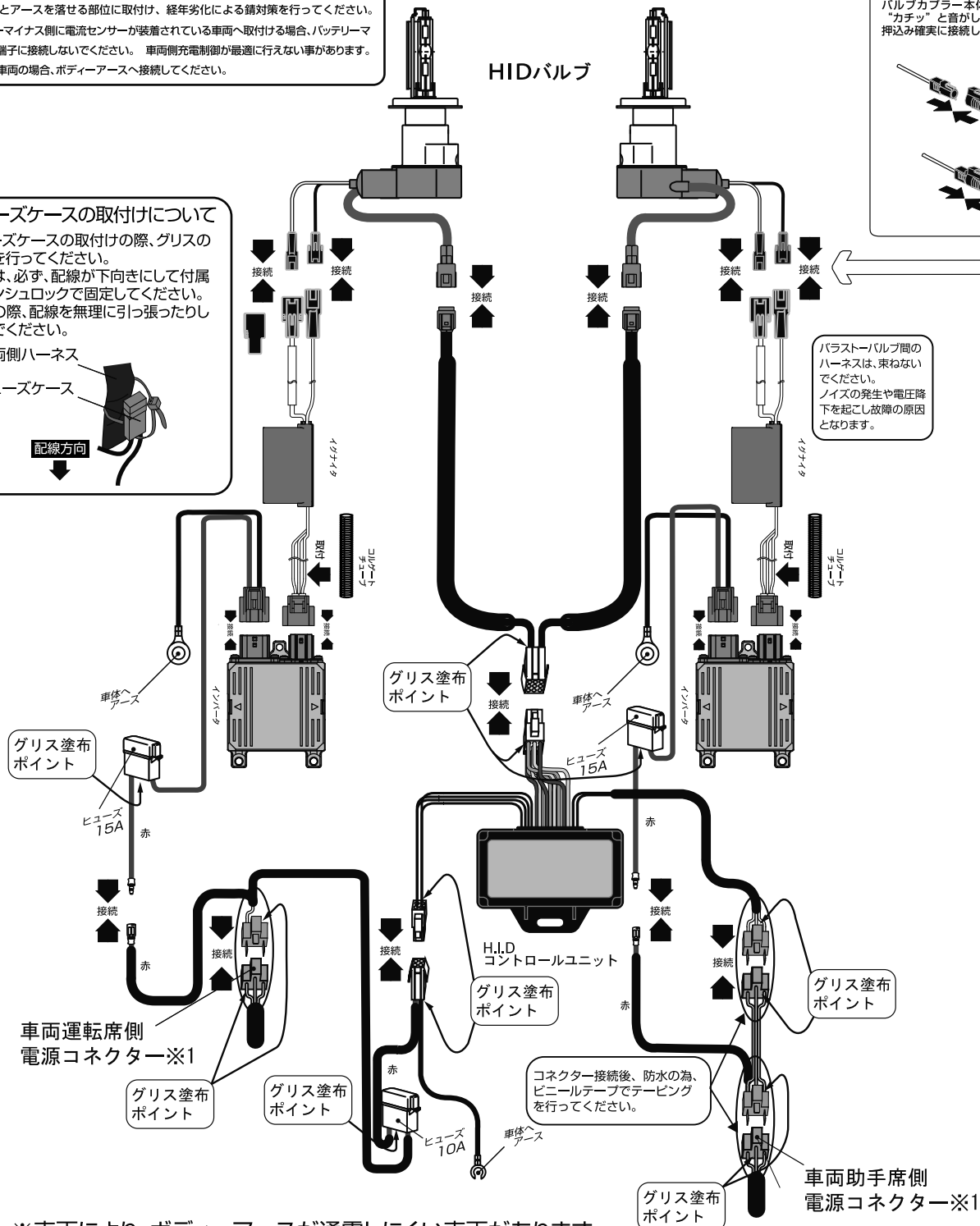


[H.I.D.バルブカプラーの接続]

バルブカプラー本体(オス・メス)を
“カチッ”と音がしてロックするまで
押込み確実に接続してください。

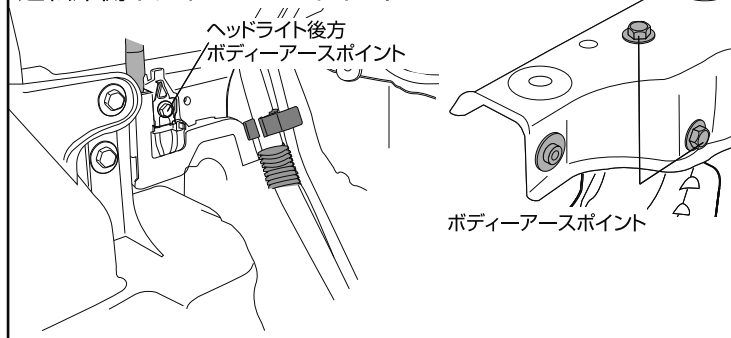


バラスターバルブ間の
ハーネスは、束ねない
でください。
ノイズの発生や電圧降
下を起こし故障の原因
となります。

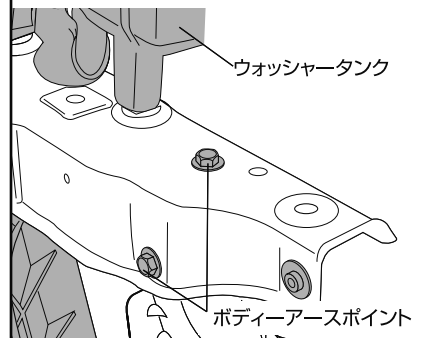


※車両により ボディ アースが通電しにくい車両があります。
接続の際は、テスター等で、通電確認を行ない作業を行なってください。

運転席側ボディアースポイント



助手席側ボディアースポイント



【HID 取付手順】

HIDシステムの取扱いのついては、必ず取付要領書をお読みの上、手順にそって取付を行って下さい。

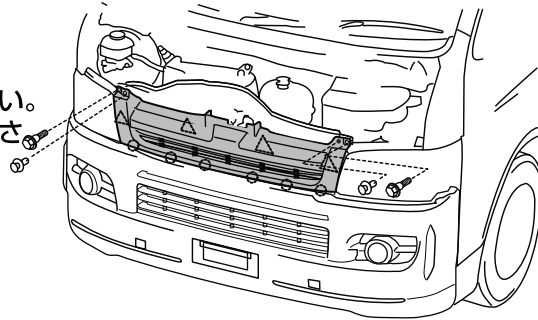
⚠ 作業を開始する前に

バッテリーのマイナス(－)端子を取り外し、車両に供給される電気を遮断して下さい。
バッテリーのマイナス(－)端子を取り外すとラジオや時計などのメモリーが消えてしまいます。
端子を取り外す前に記録を残してください。また、作業終了後には、必ず元の状態に還元して下さい。

取付手順 1 車両パーツの取り外し

1-1 フロントグリルの脱着

1. クリップ2個およびスクリューを取り外してください。
2. ツメのかん合を6箇所、クリップ4箇所を外して下さい。



△:クリップ位置
○:ツメ位置

1-2 フロントバンパーの脱着

1. バンパーを固定しているクリップおよびボルトを全て取外して下さい。
2. ツメのかん合部とクリップを4箇所を外し、ステッププレートカバーを取り外して下さい。
3. バンパーを車体から取り外して下さい。

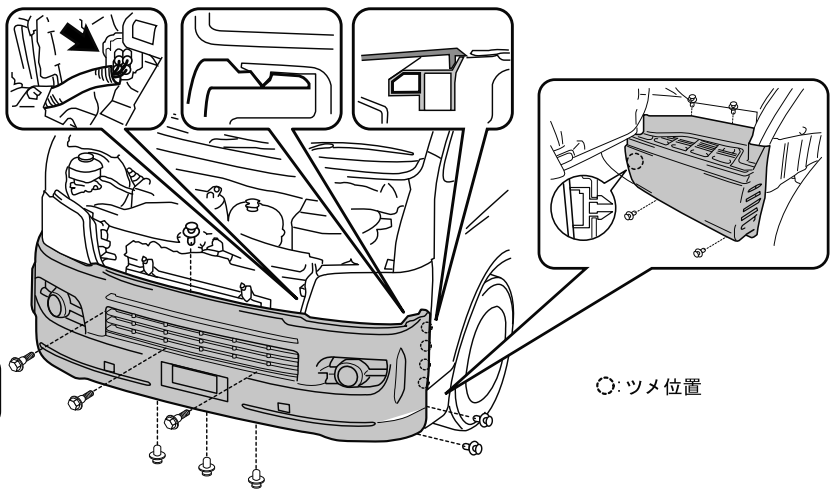
※フォグランプ等のコネクターを切り離して下さい。

アドバイス

- ・ボディーおよび取り外す部品にキズを付けないように作業を行ってください。
- ・脱着作業の際は、他の人にパーツを支えてもらいながら行ってください。

知 識

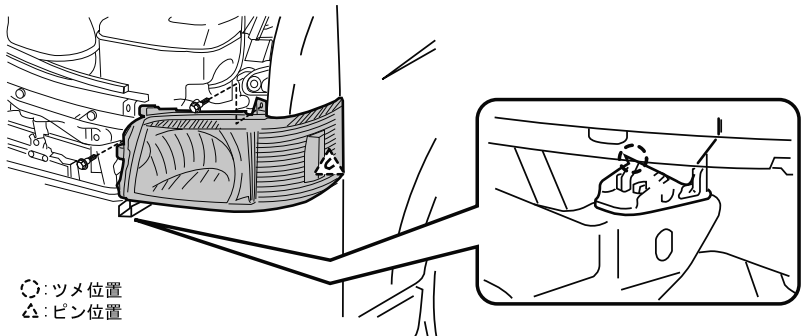
- ・フロント フォグライト カブラーの接続は確実に行ってください。(タイプ別装着)
- ・ボディーおよびヘッドライトに対して段差や浮きなどのないように取り付けてください。
- ・クリップの損傷を点検し、必要ならば交換してください。



○:ツメ位置

1-3 ヘッドライトの脱着

1. 取付ボルト2本を外し、ツメとピンを外しヘッドライトA s s yを取外して下さい。
2. ライトから各カブラーの接続を外して下さい。
3. 取付は、取外しの逆の手順で行って下さい。



○:ツメ位置
△:ピン位置

取付手順 2 HIDバルブの取り付け

2-1 フードキャップの取り付け

フードキャップの組付け、HID バルブの装着はそれぞれの装着手順に沿って、確実に取り付けを行ってください。

《フードキャップ組付け手順》

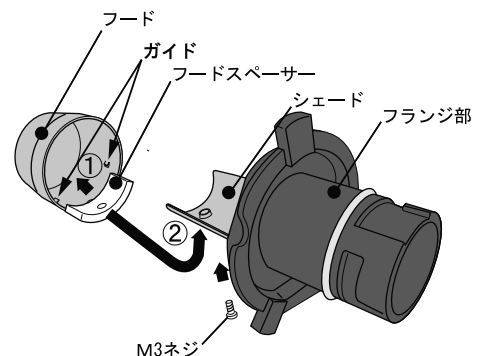
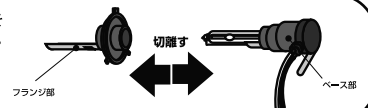
- ①フードスペーサーは端面をフードのガイドに添わせながらフードにセットし穴位置を合わせてください。※1
- ②フードスペーサーの内側にシェードをセットし、穴位置を合わせたら付属のネジ(M3)を使用して、フードとシェードを固定してください。
- ③最後にシェードとフードが確実に固定されているかを、ご確認いただき固定されていれば、取付け作業は終了です。

ご注意

- シェードとフードの固定ネジは締め過ぎないように十分ご注意ください。
- 追加フードの有無をご確認の上、装着作業を行ってください。

〈作業を始める前に〉

HID バルブ装着手順に従いフランジ部とベース部を切離してからフードの取付け作業を行ってください。

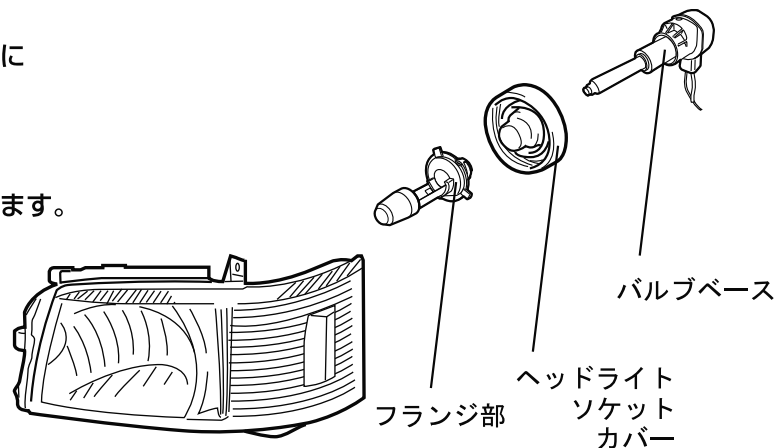


※1 フードスペーサーには、上下方向があります。下記、図方向からフードにセットしてください。

2-2 HIDバルブの取付

1. フランジ部に付属のフードキャップをフランジカバーに取り付けて下さい。
2. ヘッドライトユニットより、純正のハロゲンバルブを取外して下さい。
4. ヘッドライトソケットカバーをフランジ部に取り付けます。
5. 最後に、バルブベースをフランジ部に取り付け、時計回りにまわしてロックして下さい。

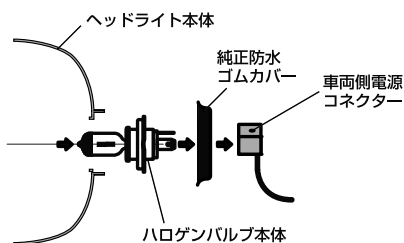
※フードキャップの組付け及びHIDバルブの装着は下記を参照の上確実に取り付けて下さい。



HIDバルブ装着手順

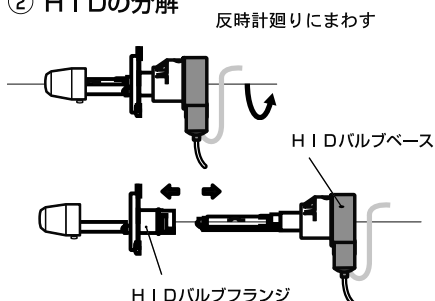
【装着準備】

① ハロゲンバルブ脱着



純正で装着されているハロゲンバルブをヘッドライト本体から取り外して下さい。

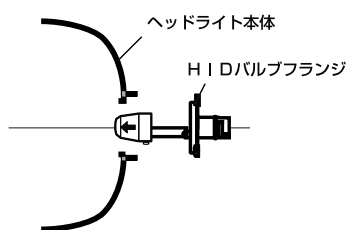
② HIDの分解



HIDバルブ本体のフランジ部とベース部を分解します。
※フランジ部を固定した状態でベース部を反時計方向へ回しロックを解除してから慎重にベース部を引き出してください。
※ベース部を取り外す際HIDの発光部も一緒にはずれますので、脱着時に破損させないように、十分ご注意ください。

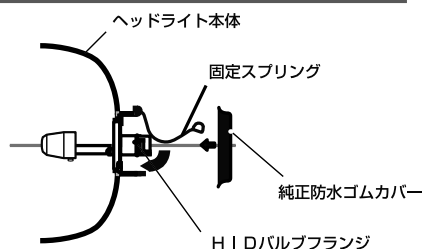
【装着手順】

【装着手順 1】



HIDバルブのフランジ部をヘッドライト本体に取り付けます。

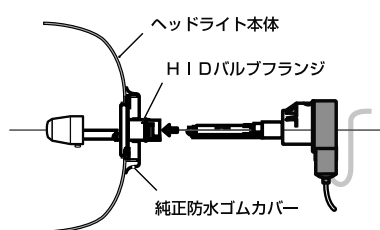
【装着手順 2】



フランジ部をヘッドライト本体の固定スプリングで固定した後、純正防水ゴムカバーを取り付けます。

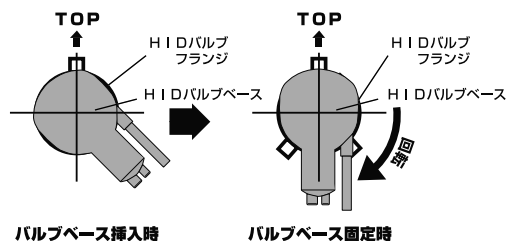
※HIDバルブフランジの取り付け、固定はハロゲンバルブと同様にして下さい。

【装着手順 3】

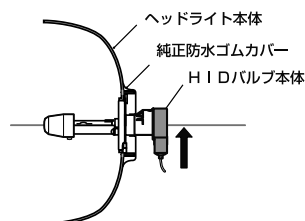


ヘッドライトに取り付けたHIDバルブのフランジ部へベース部を挿入後、時計回りに回転させ、フランジ部とベース部をロックしてください。

※フランジ部へベース部を挿入する際、HID発光部を破損しない様、十分ご注意ください。



【完成図】

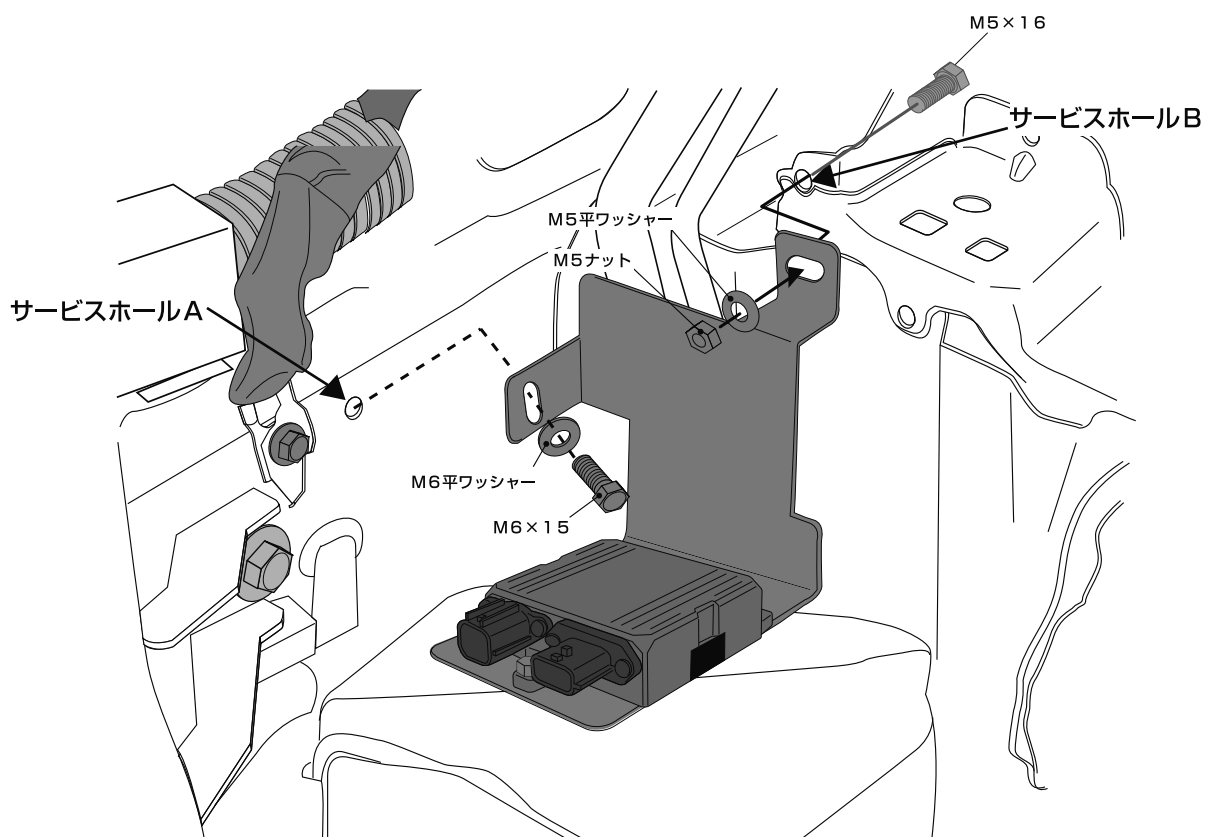
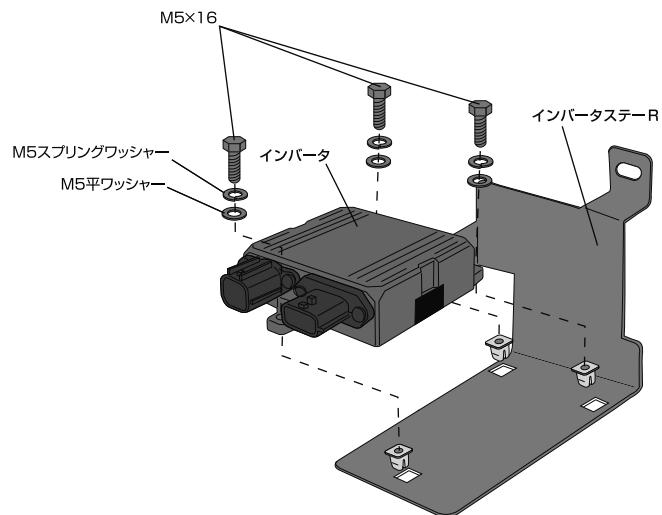
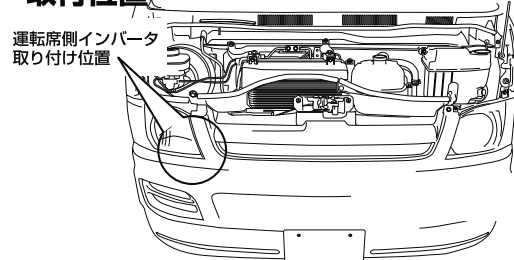


取付手順 3 インバータ イグナイタの取付

3-1 運転席側インバータの取り付け

1. インバータステーRに付属のスクリューグロメットを取付けた後、ボルト(M5×16) M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各1個使用し、インバータ本体をステーに固定してください。
2. 車両サービスホールAを使い、本製品付属品のボルト(M6×15)、M6平ワッシャーを各1個使用、もう一方の車両サービスホールBは、サービスホールBの裏側より、本製品付属品のボルト(M5×16)を差し込み、M5平ワッシャー、M5ナットを各1個使用し、インバータステーRを固定します。

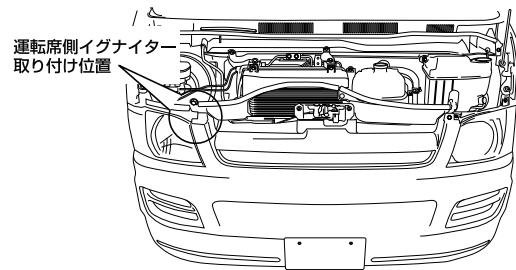
取付位置



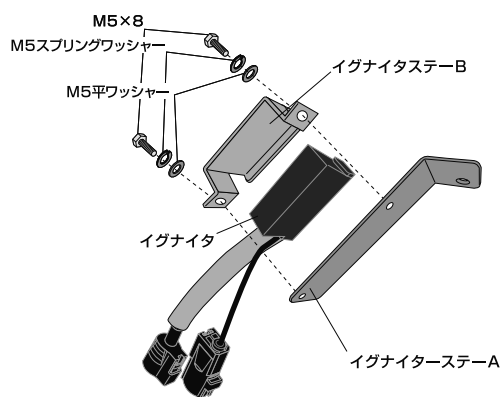
3-2 運転席側イグナイターの取り付け

1. 付属のボルト(M5×8)、M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各2個使用し、イグナイタステーAとイグナイタステーBでイグナイタ本体を挟み固定してください。
2. 車両サービスホールのある部位に、裏側からイグナイタを固定したステーAを、車両サービスホールを利用し、付属のボルト(M6×15)、M6-30平ワッシャー、M6平ワッシャー、M6ナットを使用し車両へ取り付けして下さい。
3. 車両サービスホールを使用し、ステーAを車両に固定します。
※本製品付属のボルトM6×15、M6×30平ワッシャー、M6ナットを使用し、ホール裏側から確実に取り付けて下さい。

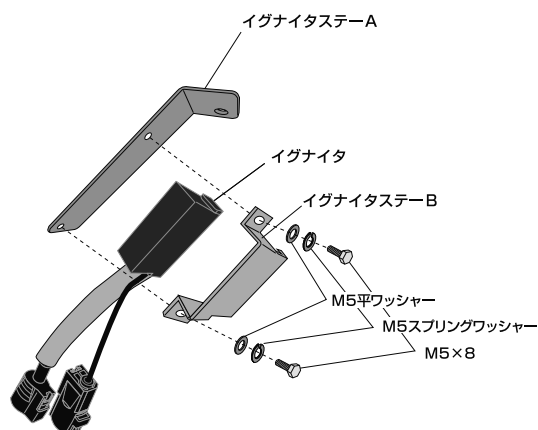
取付位置



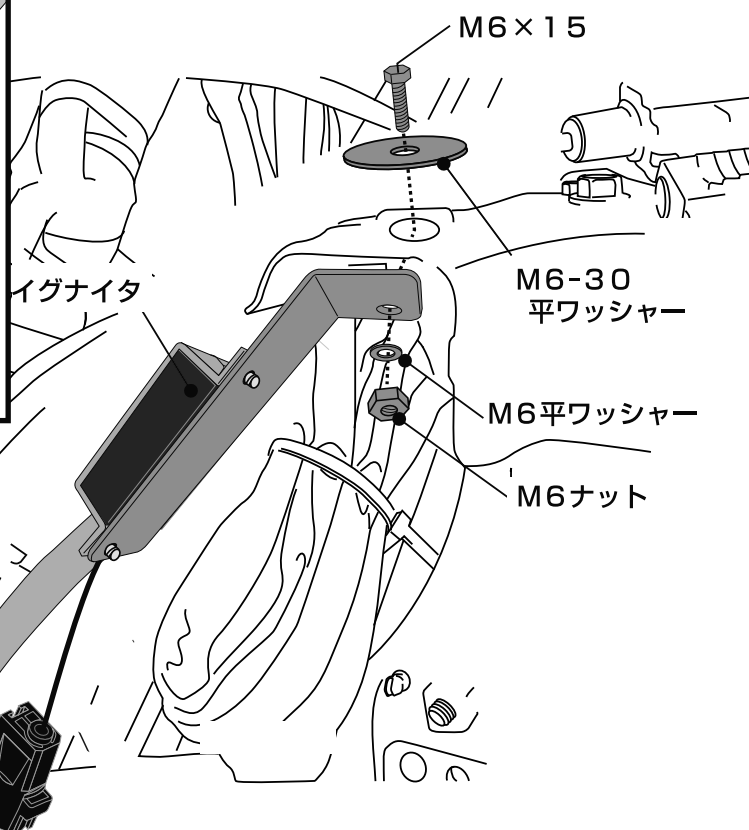
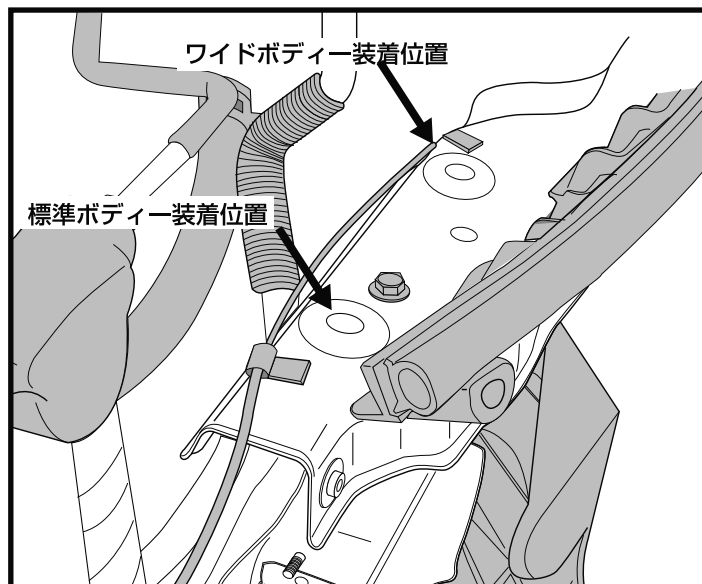
標準ボディーへ装着する場合



ワイドボディーへ装着する場合



イグナイタステー取付位置



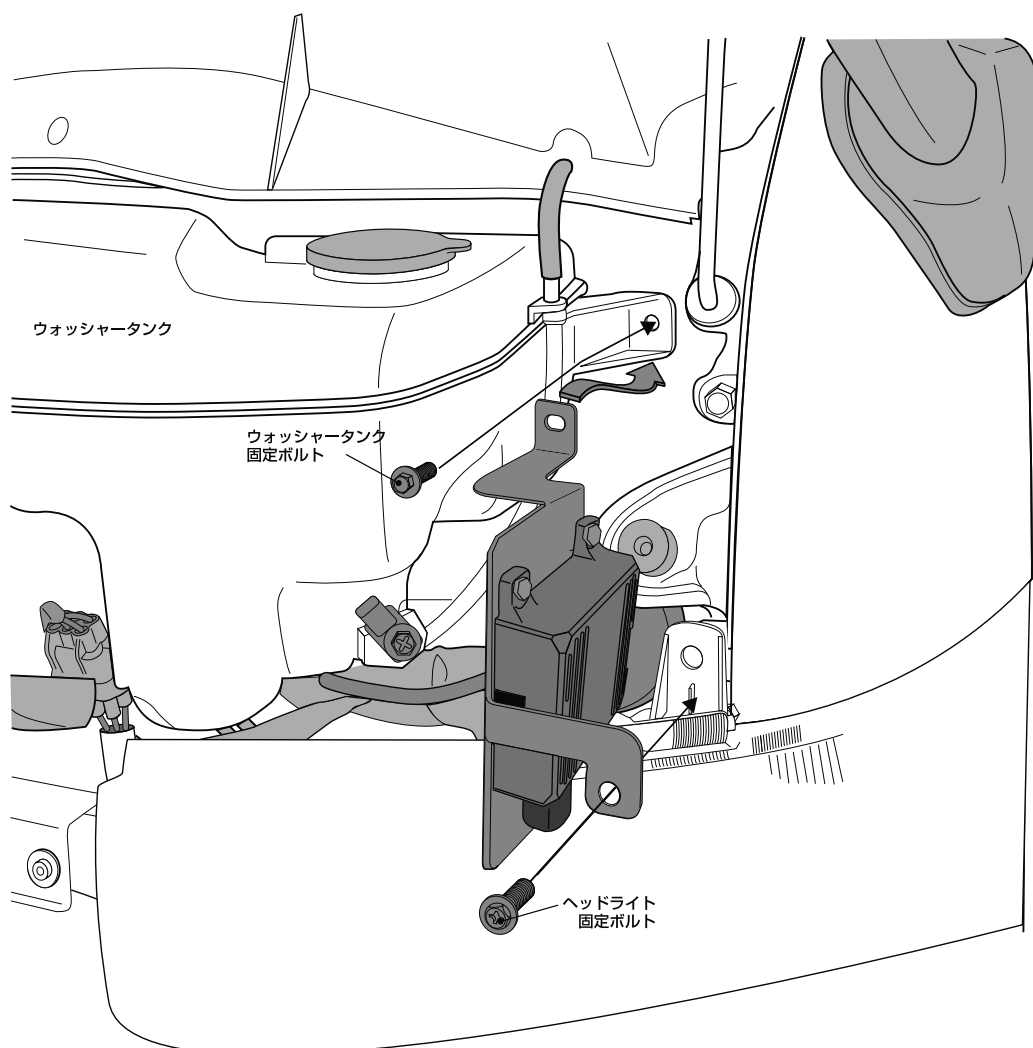
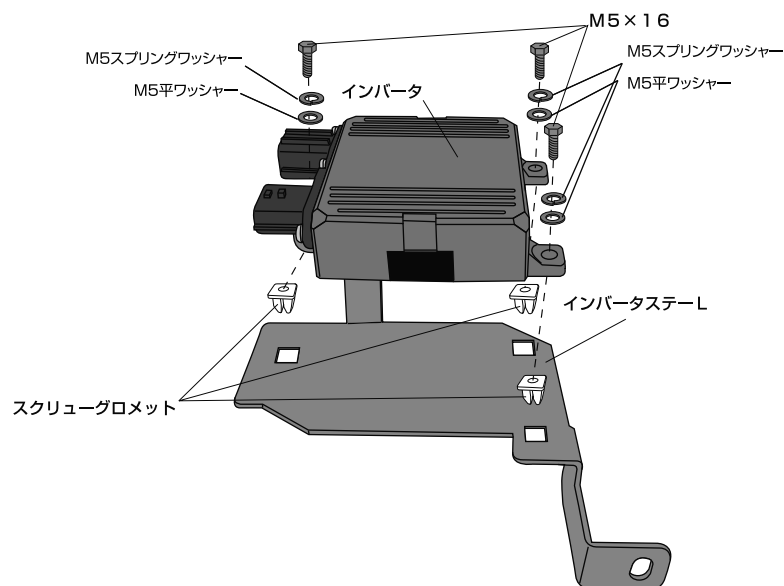
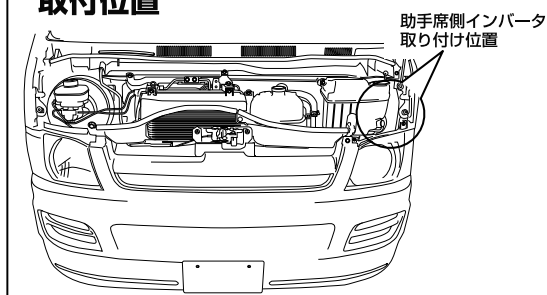
＝ご注意＝

標準ボディー車とワイドボディー車ではイグナイタステーの装着する車両側の穴位置が異なります。
上図イグナイタステー取付位置をご参照の上、取り付けを行ってください。

3-3 助手席側インバータの取り付け

1. インバータステーLに付属のスクリューグロメットを取付けた後、M5×16ボルト、M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各3個使用し、インバータ本体をステーにこていしてください。
2. ウォッシャータンクを固定しているボルトを外してください。
まず、ヘッドライトを固定しているボルトとウォッシャータンクを固定しているボルトを使用して、インバータステーLを車体へ固定して下さい。
次に、ウォッシャータンク側の樹脂ステーと車体の間にインバータステーLをはさみ、固定して下さい。

取付位置

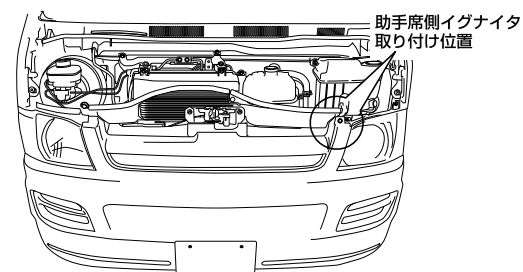


3-4 助手席側イグナイタの取付

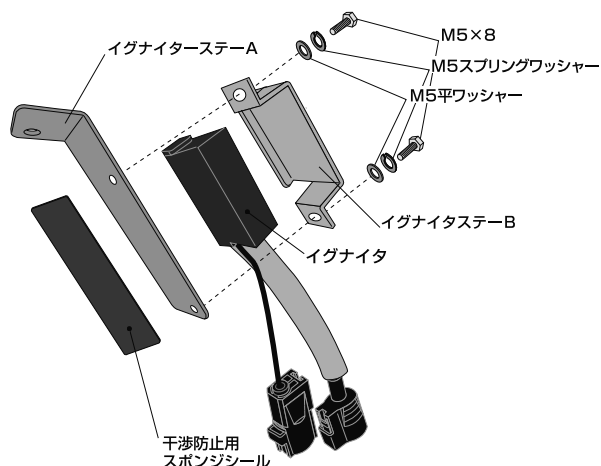
1. 付属のボルト(M5×8)、M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各2個使用し、イグナイトステーAとイグナイトステーBでイグナイト本体を挟み固定してください。

※イグナイト本体を取付た反対の面には、本製品付属の干渉防止用スポンジシールを貼付けて下さい。

取付位置

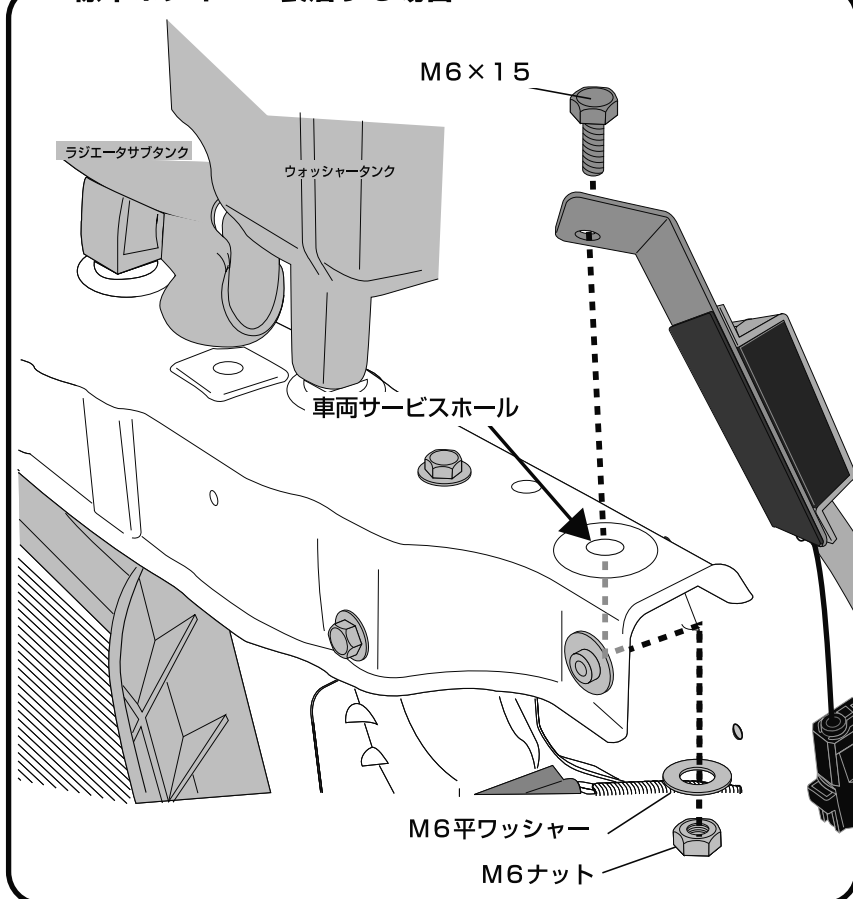


イグナイトとステーの組付け



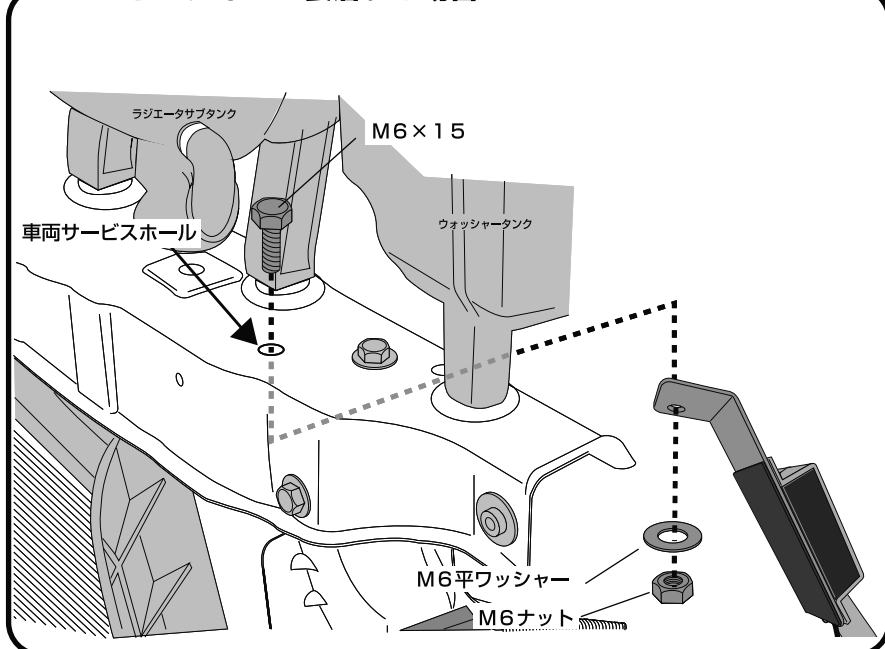
2. 標準ボディー車両へ装着の場合、イグナイトを取り付けたステーAを、図の車両サービスホールの上にセットし、付属のボルト(M6×15)、M6平ワッシャー、M6ナットを使用し車両へ取り付けてください。

標準ボディーへ装着する場合



ワイドボディー車両へ装着の場合、イグナイトを取り付けたステーAを、図の車両サービスホールの下にセットし、付属のボルト(M6×15)、M6平ワッシャー、M6ナットを使用し車両へ取り付けてください。

ワイドボディーへ装着する場合



3-5 コントロールユニットの取付

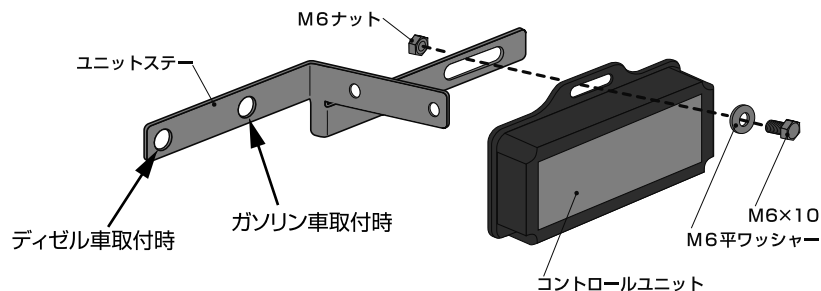
1. 付属のボルト(M6×10)と平ワッシャー(M6)とナット(M6)を使用し、ユニットステーに、コントロールユニットを固定して下さい。
2. 車両のボルトを利用し、ユニットステーを車体に取り付けます。

【ご注意】

- ・一部、ワイドボディタイプの車両に取付ける場合、コントロールユニットが車両部品に干渉する場合があります、有ります。
- その場合、図1の様にコントロールユニットを取付ける位置を変更して下さい。
- ・ガソリン車とディーゼル車では、車両に取付けるステーの穴が異なります。
- ガソリン車取付図(図2)、ディーゼル車取付図(図3)をご参照下さい。

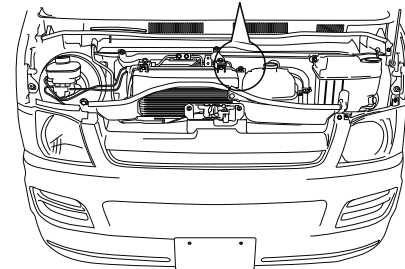
取り付けに関するご注意

- ※コントロールユニットの取付けの際は、ハーネスが必ず下側を向くよう、ユニットステーを使い、固定してください。
- ※ヒューズケースは、ハーネスが必ず下側を向くようインシュロックで固定してください。



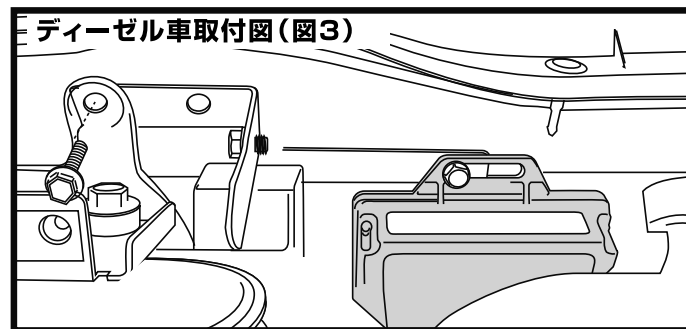
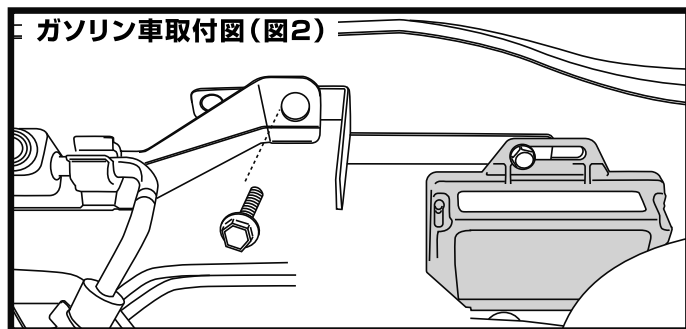
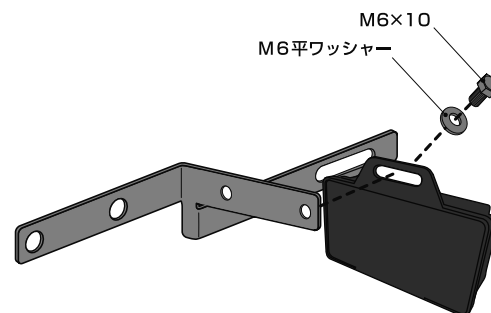
取付位置

コントロールユニット
取付位置



ワイドボディ車取付図(図1)

右図の取付けで、コントロールユニットが、車両部品と干渉するワイドボディタイプへ装着は、付属のボルト(M6×10)と平ワッシャー(M6)を使い、ユニットステーに、コントロールユニットを固定して下さい。



3-6 点灯確認・取付

取り付け作業が終わったら、正常に作動するか点灯確認を行い、必ず光軸調整を行ってください。
問題がなければ取り外したすべての部品を元の状態に戻してください。